

カテゴリ I 正誤表

頁	誤記箇所	誤	正
xiii	表中 7.オイルサンプリング カテゴリ I の訓練時間	3	2.5
xiii	表中 8.潤滑剤の健全性（性状）監視 カテゴリ I の訓練時間	3	2.5
xvi	表中 7.オイルサンプリング カテゴリ I の訓練時間	3	2.5
xvii	表中 8.潤滑剤の健全性（性状）監視 カテゴリ I の訓練時間	3	2.5
44	下 2 行 (CKB～ CKH)	CKH	CKM
57	13～14 行目	リチウム石けん系グリースの 性能を維持しつつ、さらに耐 熱性を向上させた～	金属石けん系グリースの性能 を維持しつつ、耐熱性を向上 させたものである。
92	下 2 行 各ノズル径の選定は、後で述べる油量計 算式で行う(p95.24 行目以降)。		記述削除
141	下 7 行 図 6.14 にアモルファス・フィルタの原 理 ²⁰⁾ を	20)	21)
143	1 行 図 6.19 ²³⁾	23)	24)
149	下 8 行 1.2 公称ろ過精度 ³³⁾	33)	32)
194	表 8.5 ②回転圧力容器式酸化安定試験の略称	(RPBOT)	(RPVOT)